



アイパル・JICA高校生カレッジ 2019 交流編 12月7日(土)

ま・る・ご・と・南米を知ろう！

南米出身のゲスト&青年海外協力隊OBと交流しよう！



第1部 ゲーム・ゲストの国紹介・青年海外協力隊トーク

名刺を使って交流を深めました。



みんなで一生懸命パズルのピースを揃えて…
ゲストの国の有名な場所や人物などの写真が完成！

パズルで仲間探しをしてグループを作りました。



完成した写真についてゲストのみなさんから紹介してもらいました。

グループにゲストも加わり、ジェスチャーゲームをしてさらに仲を深めました。



見て！
私の迫真のダチョウを！



みんな体を張って表現し、すごく盛り上がりました！！



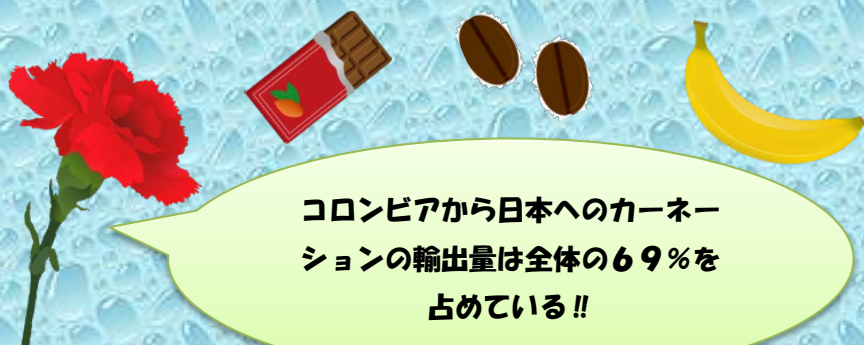
正解かな？



コロンビアで2年間、青年海外協力隊員として現地の人たちに、ごみの分別を普及させるための活動等を行った、和田さんの体験談を聞きました。



和田さんがコロンビアに行くことになったきっかけや、コロンビア流の挨拶、コロンビアの食文化など、経験したことを話してくれました。中でも、和田さんの行った廃棄物問題の改善活動の話では、日本では当たり前とされている分別がコロンビアでは当たり前となっていないと聞き、とても驚きました。また、日系移民の歴史やカーネーション、チョコレート、コーヒー豆の貿易などコロンビアと日本とのつながりについても学びました。



コロンビアから日本へのカーネーションの輸出量は全体の69%を占めている!!

ゲストのソンさんがブラジルの多様性について話してくれました。



ブラジルで話されている言語の数の多さや、町の風景、また食文化の話聞いて、ブラジルには多様な民族や文化が集まっていることがわかりました。



ブラジルの代表的な料理「フェイジョアーダ」!
実は、アフリカからの移民が
伝えたものだそうです。



ゲストや青年海外協力隊 OB の和田さんとの交流を通じて、南米を身近に感じることができる講座でした。私自身も南米について新たな発見や学びがありました。特に、第2部でクイズを通して学んだ南米の新年の過ごし方はどれも初めて知った、面白いものばかりでした。また、青年海外協力隊の体験談や盆踊りが取り入れられたブラジスのダンスの体験などでは、南米と日本とのつながりの強さを改めて感じました。

香川大学教育学部人間発達環境課程
国際理解教育コース 馬見 海世

第2部 交流ティータイム

香川に住んでいる南米出身のゲストのみなさんとさまざまな活動を通して、楽しく交流しました。ペルーのクリスマスに欠かせないホットチョコレートを飲みながら親睦を深めました！

グループ対抗で国紹介クイズ！！

**ゲストの国の年末年始の過ごし方に関するクイズをしました！
日本とは全く違う過ごし方にみんな驚いていました！**



**ペルーのホット
チョコレートで
一息！**

**クイズの後は、グループごとにゲストの国についての紹介やフリー
トークで盛り上がりました！
やさしい日本語や英語をつかってゲストの国についてたくさん
質問をしました！**



**ブラジルの人気バンド「カリフォルニア」の曲に合わせて
日本の盆踊り「炭坑節」を現代風にアレンジし
たダンスを体験しました。
キャッチーでリズムカルな振りで楽しく踊ることが
できました！！**



**第1部で聞いた和田さんのコロンビアでの体験談は、異
なる価値観を理解し、共生することの難しさや重要性を
感じました。**

**第2部では、ゲストの国の文化について楽しみながら学
ぶことができました。高校生がゲストと積極的にコミュ
ニケーションをとろうとしていたことが印象的でした。**

香川大学教育学部人間発達環境課程
国際理解教育コース 加賀美量子